

KIT*MIKI

ON PAPER

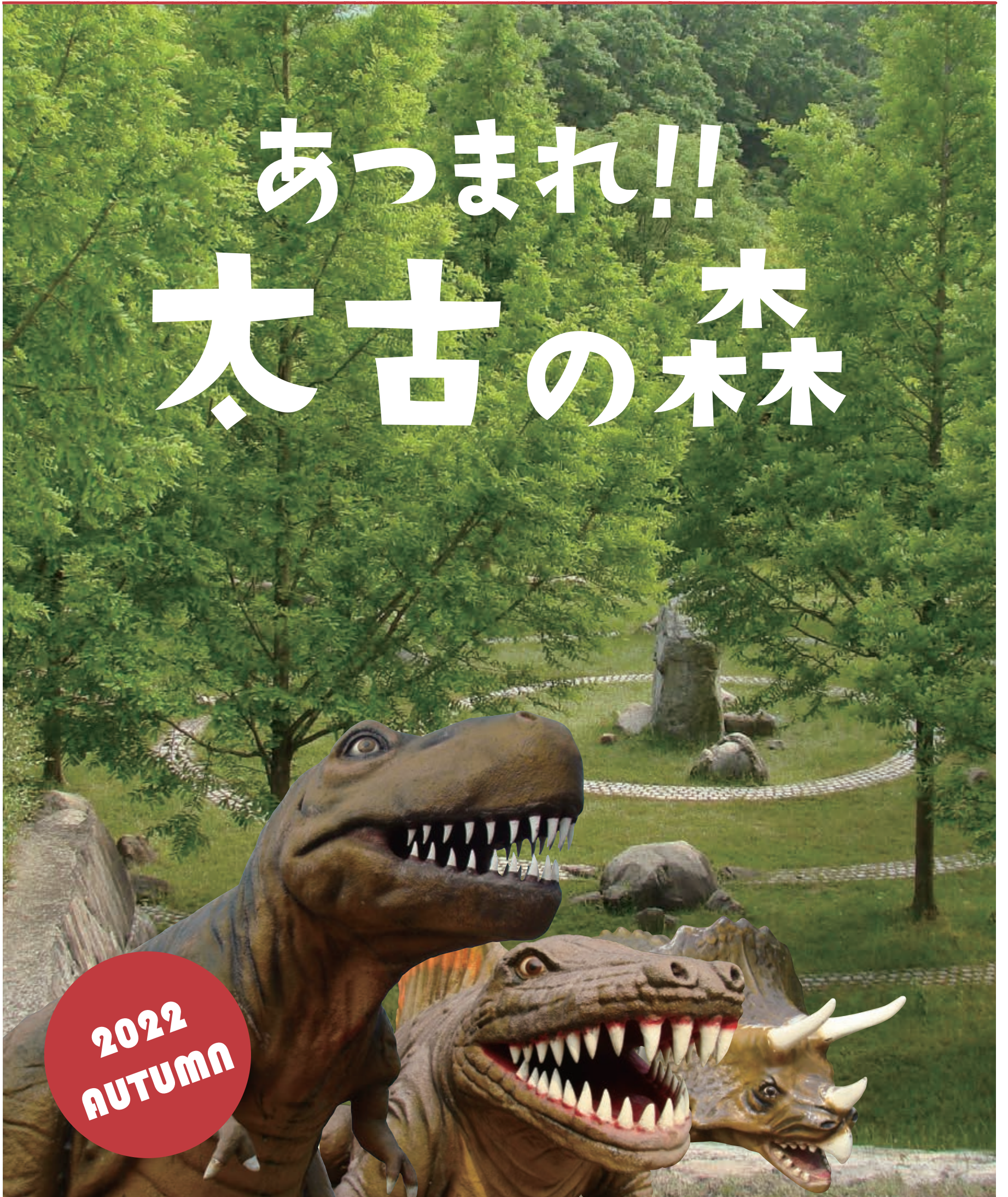


<https://www.town.miki.lg.jp/kit-miki/>

三木町ふるさと会報紙 年2回発行

あつまれ!! 太古の森

2022
AUTUMN



奥山の旧校舎からこんにちは！

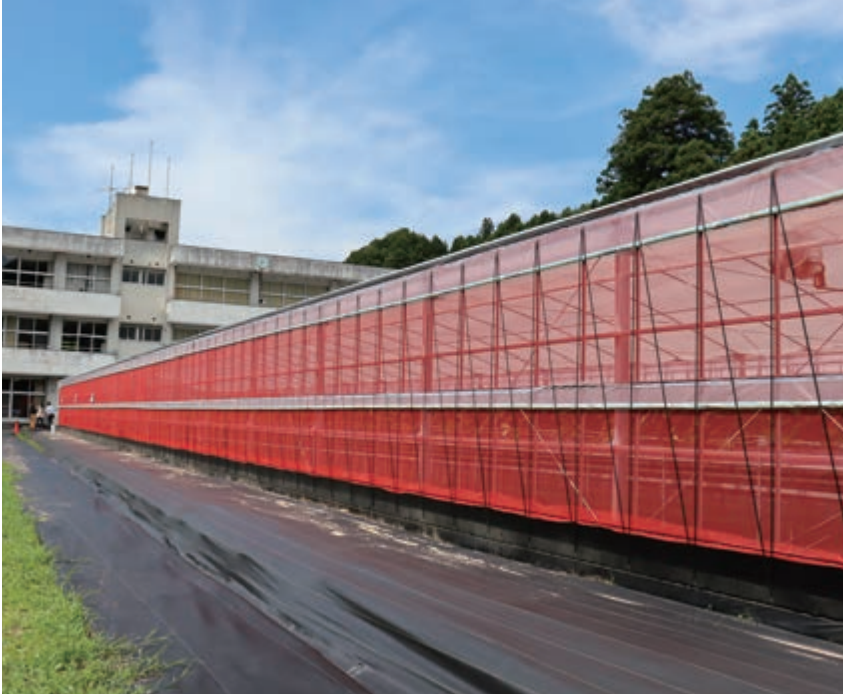
三木町で新たな挑戦

■ 奥山に眠る小中学校

その昔（と言ってもそこまで昔ではありません）、三木町奥山には神山小学校と神山中学校がありました。少子化という時代の流れにあらがうことができず、児童生徒の減少…そして平成 18 年に閉校となり、その歴史を閉じました。旧校舎となってしまった小中学校。たくさんの希望を育んできたこの校舎は、このまま眠ってしまう運命なのか…。しかし、ついに転機が訪れます。

■ 「イチゴの生産県下 No.1 の三木町」と 「農業による地域貢献を目指す企業」の出会い

町は過疎地域活性化を目指して、旧神山小中学校を民間事業者などに利活用案を公募しました。その結果、令和 3 年 11 月に温暖な西日本でも夏秋に収穫できるイチゴの新品種開発を進めている化学メーカーの協和化学工業株式会社（※1）と三木町の思惑が一致し、旧校舎でのイチゴ栽培が始まったのです。現在、校舎建物やグラウンドを、アグリバイオ事業所及び研究所の拠点として再整備し、「株式会社ホープ」が冷涼地の夏向けに開発したイチゴの品種である「夏瑞（なつみずき）（※2）」を栽培しています。



※1 協和化学工業株式会社のアグリバイオ事業は令和 4 年 10 月に設立した親会社であるセトラスホールディングス株式会社へ承継されました。
※2 「夏瑞」及び「なつみずき」は株式会社ホープの登録商標です。



夏瑞（なつみずき）ってどんなイチゴ？

■ 北海道から来た夏イチゴのニューカマー!!

「夏瑞」及び「なつみずき」は北海道上川郡に本社を置くイチゴの苗開発や販売などを手がける企業（株式会社ホープ）によって育成された夏秋イチゴで、平成 26 年に品種登録出願、翌年に出願公表されています。品種名は「ペチカほのか」ですが、一般的には商標名の「なつみずき」で流通しています。

■ 夏秋イチゴのイメージをくつがえす？

果実は大粒で円錐形。そして最大のチャームポイントは、食味の良さ。名前はその“みずみずしさ”から命名されました。収穫初期の糖度は高め。これまでの酸味の強い夏秋イチゴのイメージをくつがえす品種です。

■ え?!こんなに大きくなるの!?

これまでの夏秋イチゴに比べ特徴的な大果にもなるイチゴ。一番果、二番果では 40～50g を超えるゴルフボールのような大玉が実ります。ジューシー! 香り良し! 夏のイチゴとして、注目の品種です。

旧神山小中学校プロフィール

○神山小学校

通称二本杉の学校として知られていました。明治 25 年 4 月に津柳簡易小学校を奥山尋常小学校と改称しました。当時は二学級三年制でした。昭和 16 年 4 月に神山村立神山第二国民学校と改称し、昭和 22 年 4 月に神山村立神山第二小学校と改称しました。



○神山中学校

昭和 22 年 4 月 1 日に学制改革により、神山村立神山第二中学校として創立されました。※どちらも平成 18 年 3 月末閉校しました。



ちょっと気になる『二本杉』

旧小中学校の近く、熊野神社の境内にそびえ立つ二本の杉。樹齢約 800 年の巨木で、県の天然記念物に指定されています。二本の杉が並ぶ様は、巨大鳥居のようです。静謐で自然豊かな神社に静かにそびえる二本杉は圧巻です。

二本杉プロフィール

- 【樹高】
いずれも 45 メートル
- 【胸高幹周】
大きい方が 7.8 メートル、
小さいほうが 5.8 メートル



地元住民もニッコリ! 試食会開催!!

2022年7月20日、協和化学工業株式会社は今シーズンの「夏瑞（なつみずき）」の収穫時期を迎えたことから、地元住民や関係者をお招きした試食会を開催しました。

試食会には、住民約40人が参加! 住民からは「甘くて美味しい!」「みずみずしい」「地元の名産になればうれしい」などの感想が飛び交いました。



香川県内の菓子店でも食べられる? ふるさと納税にも!

全体的に明るい橙赤色に色付き、持った感じはやや硬くしっかりとしている「夏瑞（なつみずき）」。中の果肉は白く、中心部の空洞はわずかです。協和化学工業株式会社で生産された「夏瑞（なつみずき）」は、既に香川県内の菓子店でも使われていたりします。そして、この夏、三木町のふるさと納税にも登場しました。

イチゴらしい香りや糖度の高さ、みずみずしさが特徴の「夏瑞（なつみずき）」。どんな食感なのか? どんな味なのか? 是非、味わってみてくださいね。



PICK UP! INTERVIEW インタビュー

わたしたちは「アグリバイオ」によって新しい農業技術を提供していきたいと考えています。新品種の開発をすすめるアグリ技術で三木町を夏でもイチゴの栽培が盛んな地域に。作物の品質を高める植物共生菌エンドファイトの開発をするバイオ技術でより農作物の育ちやすい環境を。三木町がより人の集まる場所、賑わいのある場所になるきっかけのひとつになればと願っています。これからも、瀬戸内から日本、さらには世界を豊かにする企業として世の中に貢献し、成長していく所存です。



セトラスホールディングス株式会社の皆さん

地域への思い、今後の展望をお聞きしました!!

地域
おこし
協力隊

地域おこし協力隊よっしーの活動紹介！！

地域おこし協力隊の芳田裕美さん（愛称：よっしー）三木町に着任して約1年。三木町の地域活性化のため、様々な活動を行ってくれています。ここでは、これまでのよっしーの活動をご紹介します。

Instagramを開設しています



Instagram で町の魅力や暮らし、日々の活動を発信しています。
@miki_kagawa_chiikiokoshi

移住相談 ～ネットワーク作り～

1. 移住ガイドブック作成



移住を考えている方に三木町を知ってもらうためのガイドブック「移住のしおり」を作成しました。

三木町の先輩移住者や町の方に話を聞きながら、移住者の目線で町の情報や暮らしを紹介。

マップでスポットまでの時間を紹介したり、移住後の変化として自分自身の経験をまとめています。

2. 移住フェア
in 東京・大阪

東京、大阪で開催された、香川県主催の移住フェアに参加しました。

三木町を知ってもらい、移住者としての実体験をお話しました。

3. 移住者交流会開催

5月15日（日）サイトウコーヒーさんと、県外から三木町に移住された方を対象に交流会を開催しました。

移住者同士で気軽に相談や情報交換する良い時間になりました。



4. 移住者ネットワーク『TSUMIKI』

7月に三木町移住者ネットワーク「TSUMIKI」（つみき）を立ち上げました。三木町に移住を考えている人や移住した人が、地域の生の声を聞いたり、困りごとを気軽に相談できる場を作ることを目的とした、移住者目線で町の暮らしや情報を発信するためのネットワークです。

「TSUMIKI」（つみき）は、「繋ぐ三木町」と玩具の「積み木」から名付けました。いろいろな人が集まる地域で、「人と人」「人と地域」を繋ぎ、関係を積み重ねて地域を作っていくという想いを込めています。

今後 TSUMIKI の拠点を一緒に DIY しながら整備したり、交流会や移住体験会の開催を考えています。

三木町移住者ネットワーク
TSUMIKI

地域交流 ～小蓑～

小蓑でどんな野菜をつくっているのか、どんな体験ができるのか、小蓑の一年を知り、取組を学ぶために、お話を聞いたり、色々な経験をさせていただいています。



12月には玉ねぎを植え、6月に収穫させていただきました。



農産物加工場が完成し、5月にカフェもオープン。
セレモニーの司会を努めました。小蓑地域に関わる方々とのつながりもでき、良い経験になりました。



小蓑の棚田

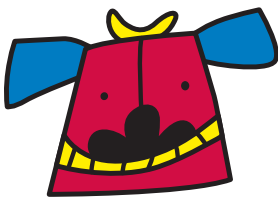


小蓑の棚田が、農林水産省の「つなぐ棚田遺産」に認定されました。
地域みんなで自分たちの地域を守る様々な取組が評価されたと聞き、棚田の風景、小蓑の豊かな自然や美味しい食材があるのは地域の方の力だと、改めて考える良い機会になりました。

小蓑にヤギが仲間入り



今春、小蓑に4匹の羊がやってきました。名前が募集され、8月13日の小蓑夏祭りで発表、表彰されました。かわいい羊たちの活躍にも目が離せません。



こみの古代米プロジェクト 2022



三木町内で地域を盛り上げようと栽培されていた緑米という古代米。
地域の方の想いをなんとか未来につなぎたい!体に優しい古代米を作って食べてみたい!そんな想いに小蓑の農家さんが力を貸してくれることになり、「こみの古代米プロジェクト 2022」が始まりました。

緑米という古代米は、もち米の一種で、国内では生産量が少ない貴重なものです。栄養が豊富で、お餅にすると美味しいとか!! 6月に三木高校流通系列の皆さんにも協力してもらって田植えをし、元気に育っています。収穫できたらお餅つきなど楽しいイベントを企画しています。ぜひご注目ください!!

三木町観光協会できました！！

令和4年4月1日に、一般社団法人三木町観光協会がスタートしました！これから観光協会が、事業者等をつなぐプラットフォームとなって、三木町の文化・歴史・産業等の地域資源を有効活用していくとともに、潜在的な資源を発掘し、魅力を高め発信していくことで、観光及び産業の振興を図っていきます。

三木町観光協会のホームページでは、イベント・観光・グルメ・モデルコース・おみやげなど、三木町の最新情報をご紹介します！

一般社団法人三木町観光協会

☎087-802-5510 営業時間 9時30分～17時
(昼休み 12時～13時、土日祝・年末年始を除く)
三木町観光協会 HP はこちら!!
<https://mikicho-kanko.com/>



三木町観光協会

町のシンボル
白山

三木町を満喫できる
田中さんぽ



「これから」を生きる子どもたちが地域の自然やモノにふれて
「気づき」「学び」を体験できるアウトドアイベントです

マルシェ

コドモ
マルシェ

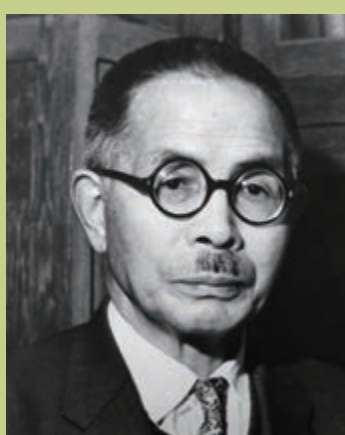
アウトドア
マルシェ

ワークショップや LIVE など楽しいが盛り沢山!! 2 日間はシャトルバスも運行するので三木町の人気施設も巡れます。



ちょっと気になる『太古の森』

今回のイベント会場になる太古の森。自然とのふれあいを通じて心の交流を図り、緑と自然に対する理解と愛情の心を培うメタセコイアの森づくりを推進することを目的に整備されました。太古の森は、みどりの丘、展望の丘、記念の丘、太古の広場とそれらを結ぶ散策コースからなり、自然とのふれあいの中で、悠久の時の流れに思いをはせ、四季折々の散策、森林浴などが楽しめる森となっています。また、メタセコイアは本町鹿庭出身で植物学者の三木茂博士が発見者として有名で、その偉大な業績を記念して記念の丘がつけられました。



三木茂博士

恐竜ティラノサウルス、トリケラトプスなどの遊具もあるよ!!



タマゴとイチゴの物語

温暖な気候に恵まれた三木町では、昔から美味しいイチゴが作られています。太陽の光をたっぷり浴びて育った真っ赤なイチゴはまるで宝石のよう。三木町産のイチゴを旬だけでなく、もっとたくさんの人に季節を問わず食べてもらいたい。そんな気持ちから、“**エッグベリー・フィナンシェ**”が誕生しました。ふわふわ「タマゴ」の卵白とみずみずしい「イチゴ」。そして、三木町うまれの「希少糖」。すべて三木町産の素材で作った、新しい三木町のスタンダード焼き菓子です。

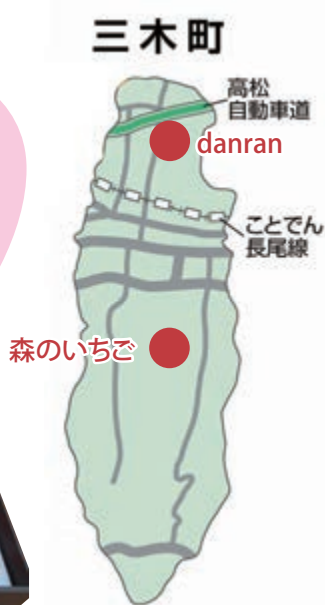
ちょっと気になる『希少糖』

希少糖とは、自然界に微量しか存在しない単糖（糖の機能的最小単位）とそれらの誘導体と定義付けられています。希少糖は自然界に約 50 種類存在すると言われてますが、その総量は糖全体の 1%にも満たない微量で、これらの希少糖のほとんどのものは市販されておらず、またされていても大変高価でした。しかし近年、三木町にある香川大学を中心に香川県を含む産学官連携での研究によって、希少糖の生産技術が確立され、食品素材としての開発が進んでいます。

香川大学農学部食堂裏の敷地内から採取した土壌から果糖を希少糖（D- プシコース）に変換する酵素を持つ微生物が発見されました！！



美味しい三木町
コラボできました



コロナに負けない！！町の応援事業補助金の活用と町内業者のコラボ

たまごの専門店 danran（だんらん）が 2015 年にオープンしました。東山産業の農場で生まれたタマゴを使って、バリエーション豊かなスイーツを販売しています。三木町は昨年度、新型コロナウイルス感染症対策として「**三木町がんばろう事業者応援事業補助金**」を創設し、事業継続や事業拡大を目指す事業者の支援に努めてきました。この補助事業を活用し、町内の**養鶏業者（東山産業）**と**イチゴ農園（森のいちご）**がコラボして、タマゴとイチゴを使用したフィナンシェを開発しました。今回新型コロナウイルス禍の中で、町内業者相互の長所を活かした連携による新たなコラボ商品が生まれました。

PICK UP! INTERVIEW

インタビュー

■ エッグベリー・フィナンシェを作ろうと思ったきっかけを教えてください

スイーツの事業を始めて 7 年が経ちます。自分達のタマゴと一緒に三木町の原材料で何か作りたい、と考えた時に、三木町ではイチゴの生産が有名なので、スイーツで何かないか、と考えました。タマゴも見える、イチゴも見える…二つの三木町の強みを考えた時に、フィナンシェがいいのではないかと、思いました。また、三木町の補助金を活用できたことも、コラボを進めていくうえで、やりやすかったです。

■ 作っていくうえで大変だったことを教えてください

タマゴの黄色とイチゴの赤色の両立といったバランスをとるのが大変でした。イチゴ感を出したり、三木町うまれの希少糖を入れたり、食感でもっちり感を出したり、何より味が美味しくないとい…何日も試作しました。

■ 今回のコラボについて教えてください

何より原材料の生産者が見える、というのが今回のコラボの良いところです。自分達の「タマゴ」と森のいちごさんの「さめき姫」という、三木町の強みをもった事業者同士のコラボになりました。香川県が行っている県産品コンクールの「菓子・スイーツ部門」にも出品して、**『うどん県。それだけじゃない香川県』知事賞（最優秀賞）を受賞**しました。

■ 最後に一言お願いします

タマゴは相性が良い食材ですので、他の食材とも良く合います。色んな人に知って欲しいですし、地元の人にも利用してほしいです。これからも三木町と一緒に盛り上げていけたらと思います。



森のいちご 本田龍さん、農事組合法人東山産業 志渡聡一郎さん

コラボ発案者農事組合法人東山産業の志渡 聡一郎さんに聞きました！！



【プリント部門】 グランプリ1点 賞金5万円 石川直樹賞(特別賞)1点 賞金5万円
優秀賞(入選) 3点 3,000円相当特産品

【Instagram部門】 グランプリ1点 賞金2万円
優秀賞(入選) 8点 3,000円相当特産品

写真の大きさ … 四つ切、ワイド四つ切に限ります。 ※カラー・モノクロは問いません。
応募資格 … プロ・アマチュアを問いません。日本国内在住の方に限ります。
応募期間 … 令和4年9月20日(火)～令和5年1月10日(火) 当日消印有効
応募方法 … ①応募票に必要事項を明記の上、作品裏へ貼付
(複数点応募の場合は応募用紙をコピーしてください。)
②三木町観光協会事務局(ベルシティ内)へ郵送または持込みによる応募

結果発表 … 令和5年2月中旬頃入賞者へ郵便で通知

応募資格 … プロ・アマチュアを問いません。日本国内在住の方に限ります。
応募期間 … 令和4年9月20日(火)～令和5年1月10日(火) 23:59まで
応募方法 … ①Instagramのアプリをダウンロード・アカウント登録
②三木町公式Instagramアカウント「@kit_miki_kagawa」をフォロー
③ハッシュタグ「#kimitomiki2022」をつけて撮影場所を記載して投稿
※ハッシュタグ「#kimitomiki2022」のない投稿は無効

結果発表 … 令和5年2月中旬頃入賞者へInstagramダイレクトメッセージにて通知

応募期間 令和4年9月20日(火)～令和5年1月10日(火)

豊かな自然と文化、歴史、ひと、食の魅力あふれるまち、香川県三木町。
三木町の魅力を、あなたならどんな1枚で取めますか？

審査 主催者が委嘱する審査員／石川直樹(プリント部門・特別賞)
応募規約 応募規約をよくお読みいただき、同意の上で応募ください。
本フォトコンテストに応募した時点で、応募規約に同意したものとします。
応募/問合せ先 (一社)三木町観光協会
〒761-0703 香川県木田郡三木町大字鹿伏310番地ベルシティ内
TEL 087-802-5510 平日9:30～17:00(昼休み12時～13時、土日祝・年末年始を除く)



特別審査委員 石川直樹

1977年東京生まれ。東京芸術大学大学院美術研究科博士後期課程修了。人類学、民俗学などの領域に関心を持ち、辺境から都市まであらゆる場所を旅しながら、作品を発表し続けている。2008年『NEW DIMENSION』(赤々舎)、『POLAR』(リトルモア)により日本写真協会賞新人賞、講談社出版文化賞、2011年『CORONA』(青土社)により土門拳賞を受賞。2020年『EVEREST』(CCCメディアハウス)、『まれびと』(小学館)により日本写真協会賞作家賞を受賞した。著者に、開高健ノンフィクション賞を受賞した『最後の冒険家』(集英社)ほか多数。2016年から2019年にかけて個展『この星の光の地図を写す』を国内6カ所の美術館で開催した。2021年より『三木町フォトコンテスト』の特別審査員を務める。2022年、香川県で撮影した写真集『MOMENTUM』を刊行。

三木町フォトコンテスト2022 応募票			
作品名			
撮影年月		撮影場所	
住所		電話番号	- -
フリガナ			※記入しないでください
氏名		性別/年齢	作品No.

※作品1点につき裏面に貼付(プリント部門)

※応募規約	【応募】 ◆作品は2021(令和3)年1月以降に、三木町内で応募者本人が撮影したもので、過去に他のコンテストなどで入賞していないもの(他のフォトコンテストに応募中、または応募予定でないものであることとします)。 ◆1人につき何点でも応募可ですが、賞は1人につき1点とします。 ◆被写体が人物の場合は、肖像権についてご本人の承諾を得た上で応募してください。(被写体が未成年の場合は、親権者の承諾) ◆立入禁止区域や私有地等からの撮影となった場合、管理者・所有者等に立入による撮影の承諾を得た上で応募してください。 ◆合成写真、複製写真、著しい画像処理・加工した作品の応募は不可とします。 ◆プリント部門における応募作品は返却いたしませんのでご了承ください。	【応募作品の使用】 ◆応募作品の著作権は応募者に帰属します。入賞作品の使用権は(一社)三木町観光協会及び三木町に帰属し、広報活動やその他のWEB媒体等で応募者の許諾なく、無償で使用させていただきます。 ◆入賞作品の展示等において入賞者の名前を表示する場合があります。 ◆入賞者は、画像データを提出していただきます。 (ファイル形式:JPEG、TIFF、PNG)
	【個人情報】 ◆応募票に記載された個人情報は①応募などに関する問合せ②入賞に関する通知③主催者による作品紹介・広報活動以外に同意なく第三者へ開示はしないものとします。	【その他】 ◆著作権や肖像権等の第三者の権利侵害があった場合、それに関するトラブルの責任は一切負いません。 ◆上記注意事項に違反した場合は、入賞決定後でも取り消す場合があります。

11月14日(月)からKIT*MIKIホームページにて応募開始。

三木の「ええもん」もらえるキャンペーン 年2回



エッグベリー・フィナンシェを含む『danran』のスイーツセットをプレゼント!

第12弾(2022年11月分)は、たまごの専門店『danran(だんらん)』のスイーツセットをプレゼント。今回は本紙6ページで登場したエッグベリー・フィナンシェも含めた美味しいスイーツをご用意しました。愛情たっぷりに育てられたニワトリの新鮮な卵をふんだんに使ったスイーツです。

danranについて詳しくはこちら



<https://www.higashiyama-sg.jp/danran/>

編集後記 (スミダ)

KIT*MIKIサイト内のエントリーフォームにパズルの答えをご入力・ご応募ください。

①	②		③	④
⑧			⑨	
		⑥		
⑩	⑤			⑦
⑪				

【タテのカギ】

- 飯を握り固めたもの。おにぎり
- 書籍、書物のこと
- 座る時に敷ふとん
- 月。ローマ神話で、月の女神
- 漢字で「栗鼠」
- かたくて、一定の形と体積をもっているもの
- 日本人の主食。稲の実

を並び替えてできる言葉はなんでしょう?

ヒント:三木町の神山地区にある香川県指定天然記念物

--	--	--	--	--

エントリーフォームはこちら



こちらのQRコードからご覧いただけます。
<https://www.town.miki.lg.jp/kit-miki/form2/>

(はがきでの応募)下記住所宛に、お名前・ご住所・電話番号・パズルの答えを明記の上で応募ください。

【ヨコのカギ】

- わが国特有のサル
- 日本の伝統楽器の一つ。爪と呼ばれる物を指にはめてはじく
- 英語で「シルバー」
- 落葉広葉樹の一種。栗も〇〇科
- 小麦粉の別名。うどん粉と〇〇〇〇〇
- 明鏡〇〇(邪気のない、落ち着いた静かな心境)

「せっかくの町のPRキャラクターがいるのに、PRしていないのはおかしくないですか!？」という叫びがあったかどうかは置いて、改めてPRをしてもらうことにしました。これからも舞ちゃん及び獅子家をよろしくお願いします。

舞ちゃん豆知識(獅子家の舞ちゃん)

三木町で盛んな獅子舞から誕生した「獅子家の舞ちゃん」。天真爛漫な女の子で、誕生日や年齢は「ひみつ」。獅子家の長女として生まれ、父・母、弟、妹、夫、愛娘といった大所帯でにぎやかな一家の一員です。好きなものはもちろん、三木町の獅子舞。

